

## パネラー4人、大いに語る ～まちづくりシンポジウム～

(第1面から続く)最後は再び、ドイツの美しい環境画面。さらに一転して、わが新都心のビル街の画面に。その説明が、この日のテーマを端的に表現していましたので御紹介します——「街は市役所が作るものではない」「このまちはいいまち? まちは市民がつくるもの。市民も頑張らねば!!」という言葉です。皆さんは、この言葉をどう聞かれますか?

続いて第2部。三川氏と佐々木先生を指導・助言者とし、「桜区の自然をまちづくりにどう生かすか」のシンポジウムに入りました。トップバッターは「田島ヶ原のサクラソウを守る」と題した、田島ヶ原サクラソウを守る会代表で、区民会議委員の山田芳伸氏は「全国でここにしかない花を大事に育てよう」。続いて、アヤマの会代表で区民会議委員の武井義一氏は「地域公園の住民管理」と題して、「子どもたちの環境教育上の効果も大きい」。「鴨川流域の総合的な整備と活用」と題し、区民会議まちづくり環境部会長の田島永一氏は、鴨川の水質浄化などの必要性を訴えました。第一期区民会議副会長の榎本高信氏は「荒川河川敷に里山公園を」と題し、「荒川河川敷の4つのゾーンを一体化させ、市の大きな目玉にしたい」と提案しました。

提案に対する質疑応答も活発に行われ、指導・助言者の先生からは「今日の4人のパネラーからの報告は、私たちにとっても大いに参考になった」とのコメントもいただきました。



4人のパネラーは実践活動を中心とした提案を発表しました

## 埼玉大学久保田教授講演会

### ～桜区再発見講座～

平成17年度の第2回目の桜区再発見講座が、埼玉大学工学部久保田尚教授を講師に迎え、「桜区の交通とまちづくり」をテーマとして去る3月25日(土)に開催されました。

会場のプラザウエスト多目的ルームでは、約80名の区民が先生のお話熱心に耳を傾けました。特に、生活道路の安全性のお話は、区民会議の今後の活動にも大いに参考にできると感じました。先生の講演の要旨は、次のとおりです。

- ・全国的にみて、交通事故の死者数は減少しているが、発生件数は増加している。特に、幅員5.5メートル未満の生活道路で事故が増加している。
- ・自動車が時速30km以下の場合、交通事故があっても死亡率は激減する。このため、生活道路を通行する自動車の速度の抑制が重要である。
- ・交通取締りでスピードを抑えるのは限界があり、住民や関係機関が連携して、道路構造のハード的な整備と交通規制などのソフト的な施策を組合せることが必要である。
- ・生活道路の交通安全の工夫として、道路上にランプ(路面を盛り上げたコブ)を設け、交通規制と合わせて、住民も参加しながら社会実験を行い、大きな成果をあげている事例がある。



事例をまじえ熱心に語る久保田先生

## 生き生きまちづくり 部会 活動報告

## 地域活動の輪を広げよう!

今年度は、地域に暮らす人々の生活上の様々な問題を視点に「『地域力』を育てる」をテーマに選び、より多くの人々が地域活動に参加できるようにするための環境づくりや仕組みを提案すべく、部会活動を行ってきました。

これまで、委員から出された意見を集約した結果、桜区をはじめ、関係機関のご理解とご協力を得ながら、

区民会議主催による防犯講習会(12月)の実施

毎年3月の恒例行事となった「コミュニティまつり」を活用した、「子ども向け防犯教室」

および「本の読み聞かせ教室」など親子向けの催しの検討

これらについて、今年度後半の活動の準備を進めています。

またこの間、防犯活動につきましては、桜区、浦和西警察署の協力によって「桜区防犯連絡協議会」(仮称)の設立が検討されています。

地域の皆さんが参加したくなるような魅力や喜びがわく桜区の実現が一步近づいてきた感じがします。引き続き皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## まちづくり環境 部会 活動報告

## 地域の特徴を生かそう!

二期目も後半に入り、鴨川環境整備、荒川河川敷の自然の活用、西浦和駅周辺の整備、生活道路の交通安全と盛りだくさんのテーマについて、現地視察を行いながら、議論を深め、より良い提案をめざして検討を重ねています。

まず、議論を重ねてきた鴨川環境整備については、まちづくりシンポジウム(1面をご参照ください)の中で、区民の皆さんに発表をさせていただき、鴨川環境整備に対する関心と機運を高め、その後ワークショップを開催していく段階となりました。桜の植樹、遊歩道の設置、旧河川敷の公園整備、水質浄化、またさらには、荒川沿いの自然を活かし、区民の皆さんとつくる里山公園等々、活発に議論していきたいと考えています。

また継続して話し合われている西浦和駅周辺については、環境部会の提案をまとめる作業に入りました。今後は、西浦和駅周辺で活躍する商店会の方や自治会の方々と連携し、より良い提案としていきたいと考えます。

新しい取り組みとして、区内の交通状況に着目し、少しでも交通事故を減少させるような取り組みができないかを話し合い、新しく道路(町谷本太線)が整備された土合小学校付近の現地視察を行いました。今後、区内でモデル地区を設置し、車がスピードを出せないようにするバンプの設置や、よりわかりやすい標識の設置などを検討していきます。



生活道路の安全にはどうすればよいか? 土合小学校周辺の現地視察を行いました